前事業年度以前に契約済みで、平成26年度以降に支出を伴う工事等契約
契約件数　13件
契約金額　4,706,621千円
（うち、平成26年度以降に支出される金額　2,733,091千円）

7．土地の譲渡に伴う資本金の減少関係
土地の譲渡に関する事項
⑴　和光寮跡地
①　譲渡した土地の帳簿価額及びその概要
帳簿価額：93,226千円
場　　所：新潟県長岡市地蔵１丁目12番
面　　積：2,460.75㎡
②　譲渡理由
教育学部宿泊施設用地として使用していたが、施設の老朽化が著しく十分な環境確保が困難となり、外部民間施設の借上に伴い不要となったため、譲渡を行った。
③　譲渡収入の額　93,226千円
④　独立行政法人国立大学財務・経営センターへの納付額算定に当たり譲渡収入より控除した費用の額　1,000千円
⑤　独立行政法人国立大学財務・経営センターへの納付額　46,113千円
⑥　独立行政法人国立大学財務・経営センターへの納付が行われた年月日
平成26年３月31日
⑦　減資額　75,498千円
⑵　歯学部敷地の一部
①　譲渡した土地の帳簿価額及びその概要
帳簿価額：18,022千円
場　　所：新潟県新潟市中央区学校町通２番町5274番12
面　　積：218.30㎡
②　譲渡理由
新潟市による公道拡幅工事計画に伴い、同市からの譲渡要望に応じ譲渡を行った。
③　譲渡収入の額　30,278千円
④　独立行政法人国立大学財務・経営センターへの納付額算定に当たり譲渡収入より控除した費用の額　1,514千円
⑤　独立行政法人国立大学財務・経営センターへの納付額　14,382千円
⑥　独立行政法人国立大学財務・経営センターへの納付が行われた年月日
平成26年３月31日
⑦　減資額　9,011千円

8．固定資産の減損関係
ⅰ）減損を認識した固定資産に関する事項
⑴　好山寮跡地
①　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要
用　　途：宿泊施設設置予定地
種　　類：土地
場　　所：新潟県妙高市大字関川2413
帳簿価額：27,775千円
②　減損の認識に至った経緯
現在、更地であり、宿泊施設設置計画が平成19年度において中止となり、その全部又は一部の使用が見込まれない状況が継続しているため、平成19年度以降引き続き減損を認識した。
③　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の内訳
減損額1,944千円は、損益計算書上の費用には計上せず、資本剰余金から控除している。
④　回収可能サービス価額
正味売却価額として、最も隣接する地価公示である都道府県基準地価格の前事業年度決算時直近（H24．7．1）の価格と当事業年度決算時直近（H25．7．1）の価格比に帳簿価額を乗じて算定している。
⑵　旭町第一体育館
①　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要
用　　途：学生課外活動施設
種　　類：建物、構築物
場　　所：新潟県新潟市中央区旭町通２番町746番地
帳簿価額：建物　9,485千円
構築物　540千円
②　減損の認識に至った経緯
旭町地区課外活動施設・立体駐車場整備計画により、使用しないという決定を下し、減損を認識した。
③　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳　（単位：千円）

種　　類	減　損　額	うち損益計算書に計上した金額	うち損益計算書に計上していない金額
建　　物	9,485	—	9,485
構　築　物	540	—	540

④　減損の兆候の有無について、複数の固定資産を一体として判定した場合の当該資産の概要及び当該資産が一体としてそのサービスを提供するものと認めた理由
旭町第一体育館については、建物及び構築物は一体となってそのサービスを提供するため、これらを一体として判定している。
⑤　回収可能サービス価額
環境整備工事による取り壊しで、売却を想定していないため、使用価値相当額を採用している。
なお、使用価値相当額は、合理的に算定できないため備忘価額としている。
⑶　武道場
①　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要
用　　途：学生課外活動施設
種　　類：建物、構築物
場　　所：新潟県新潟市中央区旭町通２番町746番地
帳簿価額：建物　41,677千円
構築物　0千円
②　減損の認識に至った経緯
旭町地区課外活動施設・立体駐車場整備計画により、使用しないという決定を下し、減損を認識した。